

令和7年度千葉県海岸漂着物組成調査の概要

1 調査目的

千葉県の海岸において、長期的かつ継続的に海岸漂着物の組成や存在量を把握し、さらに、それらの経年変化を把握する。

2 調査方法

調査は環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和7年5月第4版）」に基づき行い、富津市布引海岸（R7. 11. 13）、旭市九十九里海岸・中谷里（R7. 11. 14）で実施した。

3 調査結果

※数値を四捨五入しているため、組成比の各項目の合計が100%にならない場合がある。

(1) 大分類別（材質別）の組成等

布引海岸は九十九里海岸・中谷里と比べて、重量でおよそ29.9倍（個数比3.3倍、容量比17.9倍）の漂着物が確認された。

漂着物の組成を重量ベースで見ると、布引海岸では自然物が、九十九里海岸・中谷里では人工物が多くを占め、人工物に限定すると布引海岸ではゴムが、九十九里海岸・中谷里ではプラスチックが多くを占めた。

分類名	布引海岸（富津市）			九十九里海岸・中谷里（旭市）		
	重量/kg	組成比	(参考) 自然物を除いた組成比	重量/kg	組成比	(参考) 自然物を除いた組成比
プラスチック	1.45	0.4%	9.6%	10.55	77.0%	89.9%
発泡スチロール	0.07	<0.1%	0.5%	0.03	0.2%	0.3%
ゴム	6.74	1.6%	44.8%	0.80	5.8%	6.8%
ガラス、陶器	0.28	<0.1%	1.9%	0.01	<0.1%	0.1%
金属	0.01	<0.1%	<0.1%	0.18	1.3%	1.5%
紙、ダンボール	0.01	<0.1%	<0.1%	0.00	0.0%	0.0%
天然繊維、革	0.16	<0.1%	1.1%	0.12	0.9%	1.0%
木（木材等）	6.31	1.5%	41.9%	0.05	0.4%	0.4%
電化製品、電子機器	0.02	<0.1%	0.1%	0.00	0.0%	0.0%
自然物	349.00	85.3%	—	1.96	14.3%	—
その他	0.00	0.0%	—	0.00	0.0%	—
人力で動かせない物	45.02	11.0%	—	0.00	0.0%	—
合計	409.07	100.0%	100.0%	13.70	100.0%	100.0%

図1 大分類別の集計結果（重量）

※報告書では、個数、容量についても集計。

(2) 国別組成比

布引海岸においてはペットボトル・キャップともに日本製が最も多く確認され、その他は英語表記、文字が読み取れない「不明」であった。九十九里海岸・中谷里ではペットボトル・キャップ、漁業用の浮子ともに「不明」であった。

表記言語	布引海岸（富津市）						九十九里海岸・中谷里（旭市）					
	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子		ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	個数	組成比	個数	組成比	個数	組成比	個数	組成比	個数	組成比	個数	組成比
日本（漢字、ひらがな、カタカナ）	2	67%	8	50%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
中国・台湾（漢字）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
韓国（ハングル）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
英語	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
不明	0	0%	8	50%	0	0%	2	100%	2	100%	1	100%
合計	3	100%	16	100%	0	0%	2	100%	2	100%	1	100%

図2 国別組成

(3) **プラスチックごみの組成** ※数値を四捨五入しているため、組成比の各項目の合計が100%にならない場合がある。
 プラスチック及び発泡スチロールに分類された漂着物の組成比及び上位品目は以下のとおり。両海岸ともに容器包装が全体の半数近くであった。

プラ分類	布引海岸（富津市）		九十九里海岸・中谷里（旭市）	
	個数	組成比	個数	組成比
容器包装	127	49.2%	44	44.0%
海域由来	7	2.7%	40	40.0%
製品	118	45.7%	9	9.0%
その他	6	2.3%	7	7.0%
合計	258	100.0%	100	100.0%

図3 プラスチックごみの組成比

※報告書では、重量についても集計。

	布引海岸（富津市）			九十九里海岸・中谷里（旭市）		
	プラスチックごみの種類	個数	プラ分類	プラスチックごみの種類	個数	プラ分類
1	食品の容器包装	84	容器包装	ロープ、ひも（漁具）	35	海域由来
2	漁具以外のプラスチックひも	43	製品	食品の容器包装	22	容器包装
3	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	39	製品	食品容器	8	容器包装
4	ボトルのキャップ、ふた	23	容器包装	ウレタン	7	その他
5	食品容器（発泡スチロール）	13	容器包装	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	6	製品

図4 プラスチックごみの上位5品目

※報告書では、重量についても集計。

(4) **過年度との比較**

令和7年度の調査結果を令和2年度～令和6年度と比べると、布引海岸では、重量ベースで概ね減少傾向である。一方、九十九里海岸・中谷里では、年度による変化が大きく、重量ベースでの傾向は確認できない。なお、過年度に引き続きプラスチックの割合が高い。

変化の原因等については、引き続き、継続的な調査による検討が必要と考えられる。

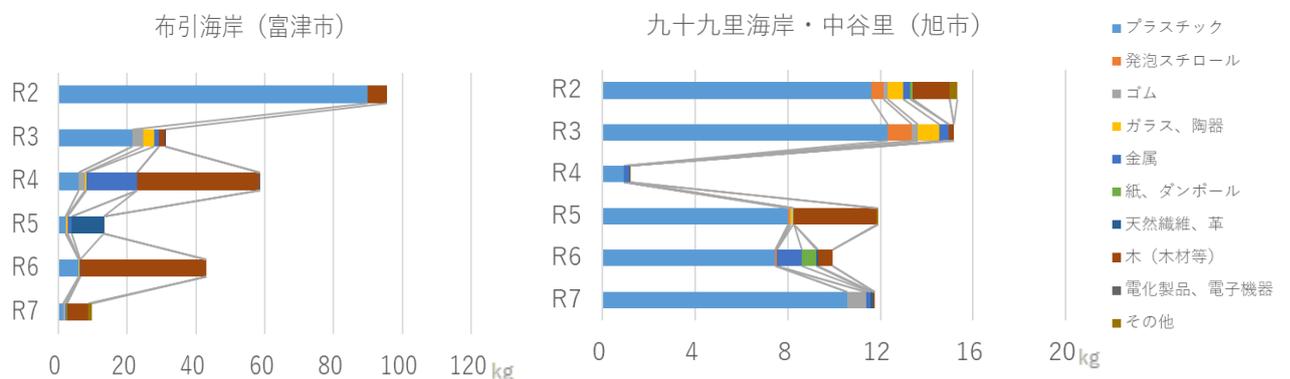


図5 令和2～7年度調査における自然物を除く漂着物の集計結果（重量）

※報告書では、個数、容量についても集計。

本資料（概要）は報告書の一部を抜粋・編集したものであり、詳細については報告書を参照のこと。